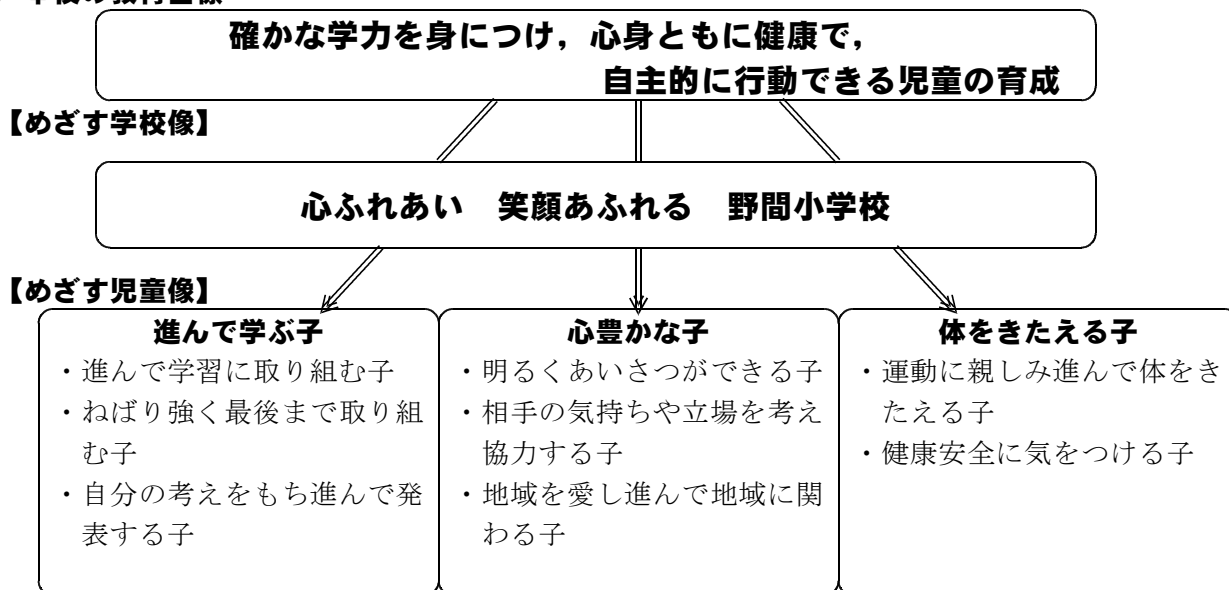


教育目標

(1) 本校の教育目標



(2) 学校経営方針

- ①基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、学習の主体者として、進んで学習に取り組む意欲・態度の育成を通して、未来に生きてはたらく確かな学力を身につけさせる。
- ②家庭や地域と連携し、当事者意識をもって主体的に周囲や社会と積極的に関わろうとする意欲・態度を培い、社会に出たときによりよく生きるための土台となる力の育成に努める。
- ③自分の健康に関心をもち、健康で安全な生活を送るために必要な知識・技能を身に付けさせるとともに、進んで心身を鍛えようとする態度を育てる。
- ④安全な施設および危機対応の在り方について、常に状況に応じて見直しを図り、安全かつ安心して学校生活を送ることができる環境整備の実現に努める。

(3) 本年度の重点努力目標

- ①「確かな学力」
 - ・基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るために、「Navima」・「コグトレ」をはじめとした具体的な手立てについて、学校として取り組む内容を整理し、子どもたちのしっくり感を大切にすることによって学習意欲を高め、自ら学ぶ子どもの育成をめざす。
 - ・ICTの効果的・発展的な活用を目指し、主体的に学習に取り組む子どもの育成に努める。
- ②「豊かな心」
 - ・明るいあいさつをはじめ、社会的・職業的自立の基盤となる他者とかかわる力を培う。
 - ・充実した地域学習や積極的な地域行事への参加等、地域や大学との連携を図り、多様な他者とかかわる体験を通して、豊かな心を育む。
- ③「健やかな体」
 - ・運動の楽しさや喜び、仲間との豊かなかかわりが得られるような体育の授業や行事等の創造に努めるとともに、運動意欲を引き出す環境づくりに努め、体力の向上を図る。
 - ・健康で安全な生活を送るために必要な知識・技能を身に付けさせるとともに、家庭と連携して、子どもたちの活力の基盤となる規則正しい生活習慣の確立に努める。
- ④「教職員の多忙化解消」
 - ・行事の精選、事務処理の効率化など、教職員の業務を全般的に再検討し、全職員が当事者意識をもって、多忙化解消に向けた取組を推進する。